



# 1月号

1月10日(水) 発行

明けましておめでとうございます

本年も本校の教育活動にご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。残り3か月となった中学校生活。卒業を迎えるその時まで、生徒達と共に成長し続けていきたいと思っております。

## ヒヨコの話

私は以前、養鶏を学んでいたことがあります。卵からヒナが孵化する瞬間は実に感動的でした。はじめ、卵の一部が、中のヒナの小さな口ばしによって割られます。一気に割って出てくるのかと思っていましたが、そうではないのです。狭い殻の中で、ヒナは身体の向きを変えながら少しずつ殻を割ります。長い休憩を取りながら、ゆっくりゆっくり殻が割られます。長いときは10分、20分動かなくなります。殻を割ってやろうかと思いましたが、それをやるとはいけなそうです。ヒナは死んでしまうそうです。ヒナは、自分の身体の変化に合わせて、自分を出産しているのです。健康に生まれ健康に育つために、それが必要なプロセスなのです。親鳥が必要なタイミングで少しだけ手伝います。親は、手をかけすぎても、かけなさすぎても、よくないのです。それが自然の中での「親子」の姿なのです。孵卵器で孵化して、一度も親鳥に抱かれることのないヒヨコを、親鳥の代わりに一羽ずつ両手の中に包み込み、しばらくそのままじっと愛情を注ぎ、心を込めて声を掛けてから、寝枠の中に放します。これを「入雛」(にゅうすう)と言います。手の中で、小さなヒヨコが動きます。こんなにも小さい命。デリケートで精巧で、ゼツタイに人工的には作り出せない神秘的な命。この作業を丁寧にすると、その後ヒヨコは上手く育つのです。これを手抜きするとヒヨコはうまく育ちません。病気になったり、死んでしまったりします。不思議ですが、実際に結果が出ているのです。精一杯の愛情をかけ、手間をかけたヒヨコは健康にすくすくと育ちます。ヒヨコにとっても、愛情はとても大切なのです。

いのち／高木善之(地球村出版)

子供たちは未体験・未経験を体験しながら時に大人の想像を超える程の成長を見せてくれます。我々は、生まれ持って完成形の子どもの成長を邪魔せず、干渉し過ぎず、そっと見守ることが本当に大切なんだと思っております。保護者の皆様がわが子を思いやる気持ちから心配されるのは、当然です。それでも一人ひとりの子ども達はこの3年で大きく成長してくれています。その力を信じましょう。よろしくお願いいたします。

感謝

## 1月の予定

日	曜日	予 定	授業	給食	下校時間
1	月	元旦			
2	火				
3	水				
4	木				
5	金				
6	土				
7	日				
8	月				
9	火	始業式	2限	×	10:00
10	水		短3限	×	11:25
11	木	学力診断テスト/かいほう塾	5限	○	14:50
12	金		5限	○	14:30
13	土				
14	日				
15	月	朝会	短4	×	12:20
16	火		5限	○	14:30
17	水	職員会議	短5限	○	14:25
18	木	かいほう塾	5限	○	14:30
19	金		短4	×	12:20
20	土				
21	日				
22	月	県外願書出願	6限	○	15:50
23	火	中央・専門委員会	6限	○	15:50
24	水	奈良高専学力出願・県立大付属一般出願	短4	○	13:10
25	木	かいほう塾	6限	○	15:50
26	金		6限	○	15:50
27	土				
28	日				
29	月		6限	○	15:50
30	火		5限	○	14:50
31	水		短6	○	15:20